

審査委員長特別賞

こけ、きやんせ

鹿児島県 | 鹿児島工業高等専門学校 選手…3年生1名



「こけ、きやんせ」とは鹿児島弁で「ここにおいで」という意味だそうで、住宅団地とともに地域一帯で子どもたちのための居場所をつくるというプロジェクトである。まちの中に子どもたちのための空間を提供するというもので、地域で子どもを育てるという着眼点が非常に面白いと思う。

これらの空間は定年退職した教師と現職教師夫婦が住む住宅の軒下を利用している。団地の中には他にも10~15戸の専用住宅やシェアハウス等が建てられており、団地の敷地内には「薩英戦争本陣跡」

があり薩摩の伝統の「郷中教育」を採り入れるとのこと。残念ながら、10~15戸の住宅の具体的なイメージや、郷中教育をどこで行うのか等の図面や説明は無く、子どものスペースは提案の住宅だけなのかあるいは各戸に設けられるのかはわからなかった。住宅間の屋根下の通路を隣家と繋げるなど、まちが繋がったほうが面白かったのではないかと。住宅プランはコアによって部屋が自由にレイアウトできるようにしたとあるが、できれば家具のレイアウトの事例や暮らし方の提案も欲しかった。また住居部分については子どもや地域に開放するのかどうか、軒下スペースは住人と子どもたちが一緒に使うのか、子どもの場所



であるとともにお年寄りや地域住民のコミュニティの場所なのだろうかと推察したが、住まいと地域に開く子どもとのコミュニティスペースの説明があるともっと魅力的になったのではないかと思います。(石貫)